

# 研究報告書

はじめに

- I わり算につまずいている子どもをどのように支援するか  
発達理解研究グループ
- II Enjoy English  
－小中一貫教育をとおして－  
英語教育研究グループ
- III わかりやすい授業づくりをめざして  
－吹田市の子どもの現状をふまえて－  
理科教育研究グループ
- IV 「こんなことはありませんか？」  
－子どものサインを見逃さない－  
子ども支援研究グループ
- V 組織力を高める学校体制づくり  
－組織的な学校間連携・首席と学校組織マネジメント－  
学校組織マネジメント研究グループ
- VI “一食作れる吹田っ子”をめざして  
－家庭科での実践－  
食育研究グループ
- VII 各学校の道徳教育の推進をはかる！  
－道徳の時間を充実させるために－  
道徳教育研究グループ
- VIII 不登校児童・生徒支援事業について
- IX 資料 センターだより特別号(XIII・XIV)

平成25年3月  
(2013年)

吹田市立教育センター

—表紙題字—

神山 成 先生（元 吹田市立山田第三小学校 校長）

## はじめに

吹田市立教育センターは、本市の学校教育の向上を図ることを目的として昭和62年に設置され、教職員研修事業、教育相談事業、学校情報教育ネットワーク構築事業・情報教育推進事業と併せて、調査・研究事業に取り組んでいます。

この調査・研究事業では、学校・園の教職員のみなさまに研究員を委嘱し、スーパーバイザーの先生方のご指導のもとに、今日的な教育課題について、研究を進めています。

今年度は、22・23年度に続き、割り算につまずいている子どもたちへの支援方法を研究する「発達理解」、小中一貫を基盤として英語指導方法を研究する「英語教育」、わかりやすい授業づくりを目指した「理科教育」、学校が直面するさまざまな課題への対応を研究する「子ども支援」、組織的な学校間連携がもたらす教育的効果を研究する「学校組織マネジメント」、一食作れる吹田っ子をテーマとした「食育」、各校の道德教育の推進と充実を目的とする「道德教育」の7つの研究グループにおいて、スーパーバイザーの先生のご助言を得ながら、研究員の方々に熱心に研究に取り組んでいただき、ここに、平成24年度（2012年度）の紀要107号「研究報告書」として、それぞれの成果をまとめ、刊行することができました。これらの研究成果を各校・園での教育活動や実践の参考としてご活用いただけたら幸いです。

今年度は中学校において、新学習指導要領が実施され、これにより、21年度の幼稚園、23年度の小学校に続いて新教育課程の完全実施となりました。今回の学習指導要領でも、「生きる力」の育成という基本理念を踏まえつつ、「基礎基本の知識・技能」の習得のみならずそれらを活用して、課題を見いだし、解決するための思考力・判断力・表現力が求められています。本市においても、グローバル化の進む社会の中で、自らの能力や個性を發揮し、将来に夢や希望を持ち、意欲的に学ぼうとする子どもたちの育成を目指しています。

教育センターとしましても、子どもたちの笑顔のために、学校・園と有機的な連携を図りながら、就学前教育を含み、小学校、中学校の11年間の連続した学びを通して「総合的人間力」の育成に向けて各校・園への支援の充実および、さまざまな教育課題についての調査・研究等の推進に取り組み、その成果を発信してまいります。

最後になりましたが、スーパーバイザーの先生方をはじめ、ご理解とご協力をいただいた学校・園の関係者のみなさま、そして、研究員として委嘱させていただいた教職員のみなさまに、厚くお礼を申し上げます。

平成25年(2013年)3月

吹田市立教育センター  
所長 小松 睦

紀要 107 号

## 平成 24 年度 研究報告書

(2012 年度)

印刷発行 平成 25 年 3 月

(2013 年)

発行人 所長 小松 睦

発行所 吹田市立教育センター

吹田市出口町 2 - 1

電話 (06)6388-1455

F A X (06)6337-5412

E-Mail:s-educ@suita.ed.jp